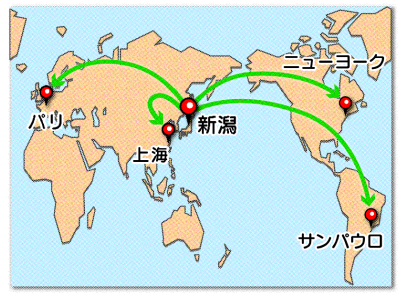
(C)新潟日報社　無断での転載、改変、複製、頒布を禁止します

グローバル にいがた

国際交流拠点から

新潟日報社が開設した米ニューヨーク（ＮＹ）、ブラジル・サンパウロ、中国・上海、欧州（パリ）の国際交流拠点などを通じ、海外で暮らす本県関係者から現地の様子をリポートしてもらい、毎月第１月曜日に紹介しています。また、新潟日報ホームページ「モア」にも掲載し、感想や意見を受け付けています。



第１月曜掲載

from NY

西山　朋美さん
＝糸魚川市出身＝

ハーレム人情あふれ

日曜日、私はハーレムにある黒人教会でクワイヤ（聖歌隊）の1人としてゴスペルソングを歌っています。ＮＹのハーレムというと危険なエリアという印象が強いかもしれませんが、私にとってハーレムは生まれ育った地元新潟を思わせます。

私は糸魚川市（旧青海町）で生まれ育ちました。海にも山にも囲まれた大変すばらしい自然と人情味があふれる自慢の故郷です。近所のおじさん・おばさんたちも皆さん親戚のようなもので、子供の頃などいたずらや危険なことをするとすぐ叱られましたし、同時にいつも声を掛けていただいたり褒められたりしたことも思い出します。公民館の集まりやお祭りなどのイベントを通してさまざまな年代の方々と接する機会があり、家族だけではなく地域の方々からも温かく見守られて育ちました。

ハーレムの教会は地域の大事なコミュニティーでもあります。家族や親戚で参加される方も多いですが、血縁関係がなくともみな家族親族同様です。日曜の礼拝や教会のイベントは日常的な世間話や情報交換の大事な場でもあり、子供からお年寄りまでみんなで声を掛け合い、助け合っています。

私はこの教会には知り合いもいない飛び込み状態でメンバーとなったので参加当初こそよく観光客に間違われましたが、今では皆さん家族同様に気に掛けてくださいます。メンバーのお1人に先日91歳を迎えた女性がいます。礼拝で見かけると必ずごあいさつをさせていただきますが、会うたびに私のことを心配してくれます。彼女の歌声は素晴らしく、聞くたびに泣いてしまいます。私は大のおばあちゃん子でしたので、大好きだったおばあちゃんにまた会えた気がしてとてもうれしくて思わず実家の母に報告をしたくらいです。

やっとの思いで始めたＮＹ生活も丸４年が過ぎました。想像していた以上に日本や家族が恋しくなることも多いですが、思いがけぬところで故郷新潟を感じたことに驚きつつ、このご縁にとても感謝しています。

（西山さんはＮＹ在住で日系の人材派遣会社に勤務しています）

ハーレムの教会の日曜日の礼拝の様子

from パリ

桜井　理恵子さん
＝新発田市出身＝

芸術家に開かれた街

1度と言わず2度、3度と繰り返し訪れたくなる街の一つにパリが選ばれているそうだ。皆何に引かれてこの街に戻りたくなるのだろう…。

私は在仏最初の2年間をパリで過ごした後、郊外に居を移した。慣れ親しんだ南欧のような優しさとぬくもりで両手を広げて抱きしめてもらえないように感じたからだ。ロンドンやドイツのように近代建築物が所狭しと立っている都市であれば、こんなセンチメンタルな思いをしなかったかもしれない。やはりこれは「世界の恋人パリ」が故に生じたことかもしれない。

それでもパリ無しには今の私は語れない。型にはめず個性を尊重し受け入れようとするところがある。勉学や芸術の習得に年齢を忘れ情熱を燃やす者にも寛大だ。もともとは語学と異文化事情、メディア分野が専門で、一般にいう学生年齢をはるかに超えていた私にも、偏見もなく他分野への就学を認めてくれた。入学条件を満たしていれば国籍は問題にせず、むしろ激励してくれる。これが移民受け入れの歴史を持ち、それを国益として発展し続けようとする国の成功の秘訣なのかもしれない。

世界一の年間訪問者数を誇る美術館でさえ常に一部、外から無料で鑑賞できるようになっている。有名オペラ歌手やバレエのプリマを育成する学校もセミプロのステージを無料で開放する。

芸術への誘惑を日常的に放つパリで、私の心の底に潜んでいた音楽への恋心が頭をもたげ、世界の音大生と声楽を学んだ。今年、仏伊交響楽団団長から〝聖なる声〟と称賛を受け招待されたモナコやイタリアでのコンサートで涙してくれた観客を目にし、心に響く音楽を届けていきたいと確信した。

そしてクラシックのテクニックを取り入れ、現代音楽、ワールド音楽をも歌唱する〝世界のソフトクラシック〟のプロデュースが完成した。出来たてのCDと共に新潟日報メディアシップでも6日と11日にリサイタルを行う。果てなき恋の街パリのおかげでもある。

（桜井さんはパリ郊外在住のソプラノ歌手兼国際文化イベントディレクターです）

8月に開かれた仏伊友好コンサートにソリストソプラノとして招かれた桜井さん

from 上海

内山　博充さん
＝小千谷市出身＝

店の冷やかしは禁物

2005年に上海に赴任し、はや11年目を迎えました。ある方からは「長いですね！」、ある方からは「まだ11年ですか」と言われる難しい赴任年数かもしれません。

上海は中国の大都市ですが、今では世界の中の大都市に変貌し、ショッピング天国ともいわれるように安い雑貨から超高級ブランドまで、ありとあらゆる商品の買い物ができます。そこで上海買い物豆知識を紹介します。

まず覚えることは「9折」。これは10％引きの意味。「8・5折」は15％引きです。その上で自分が欲しい物を多くの店でいくらかを調べる。衝動買いは絶対避けるべきで、これで失敗した方々は数知れずおられると思います。

次にお店の雰囲気です。物色していても知らないふりをしている店は値引きが難しい。これは店員がオーナーではないので売れても売れなくても、どちらでもいいという人たちです。お店の雰囲気、店員の質が良いと判断したら、自分はこれが欲しいということを顔に出さず、「これいくら？」と聞き、金額に対して「貴（高い）！」と言うと「私日本人の友達たくさんいるよ」「だからあなたも友達。安くするよ」「いくらなら良い？」と矢継ぎ早の売り込みをしてきます。

予算もあるが、最初の提示価格の30％くらいで買えれば良し、でではないでしょうか。買う前には日本円に置き換えることを忘れずに。ここは世界一物価の高い場所。その中で値切りに値切り、やはりいらない、ではトラブルのもと。気を付けていただきたい。

恥はかき捨てでは済まされません。ひいてはここで暮らしている他の多くの日本人に最終的に迷惑を掛けることになります。日本ではマスコミ等で中国人の行動がいろいろ言われるが、逆に中国から見れば同じこと。民族、言語、世情が違う国、神経質に考えずそれぞれの事情がある中で平和に共存共栄できることを願うのみです。

（内山さんは株式会社第一測範製作所＝小千谷市＝の上海にある現地法人の総経理です）

さまざまな商品が並び、人々が買い物を楽しむ上海市内のデパート

from ブラジル

小林　大祐さん
＝新潟市西蒲区出身＝

五輪目前 リオはいま

五輪開催まで1年を切ったリオデジャネイロを訪ねた。5年後の日本では既に盛り上がり始めているようなので、こちらもさぞやと思って歩き回ってみた。しかし、エンブレムをあしらったポスターやマスコットキャラクターを見かけたのは空港内の五輪関連商品を扱うお店だけ。どうやらまだ五輪どころではないらしい。

今年は市制450年にあたり、記念行事が相次ぐ。私が訪れたときには世界的な音楽イベント「ロック・イン・リオ」も控えていた。2019年の東京がこんな調子だったら不安になるが、大舞台に強く、準備体操抜きで本番に臨んでも「結果」を出す国民性だから心配はいらない。

むしろ他に懸念材料が山積している。五輪に向けた改修工事で街路があちこち掘り返され、歴史的建造物には足場や柵が目立つ。「工事をやればやるほど欠陥が出てくるので際限ない」。現地で暮らす日本人通訳は話す。景気悪化による緊縮財政のため工事は滞るのではとの見方も根強い。通訳いわく「途中で終わってもうまく化粧してごまかすでしょうけどね」。

治安悪化の元となっているスラム「ファベーラ」の存在も不安をあおる。約40カ所に平和維持部隊が常駐してからは治安が改善し、ケーブルカーが設置されたり、すしを出す食堂ができたりと話題になっているが、それはあくまで一部。ガレオン国際空港から中心街へ向かう途中、辺り一面に広がるスラムの光景を見て身の危険を感じない観光客はいないだろう。

それでも、いつかはこの町に暮らしてみたい。海と山が織りなすダイナミックな景観。ポルトガル植民地時代の面影が残る旧市街。サンバのリズムと踊り。ビーチに行けば「イパネマの娘」が歩いている。決して安全とはいえないかもしれないが、五輪をきっかけに地球を半周する価値は十分にあるだろう。私は言いたい。「リオデジャネイロを見てから死ね」と。

（小林さんはブラジリア在住で国際協力機構のコーディネーターとして地域警察活動を支援しています）

サントス・デゥモン空港内にある五輪関連商品を売る店。オープンしたばかりで客もまばら。街の盛り上がりはこれからだ

慶應義塾大学 学問のすゝめ奨学金
年額60万円（医学部は90万円、薬学部薬学科は80万円）。毎年の申請・審査により2年目以降も継続受給が可能。受給期間は入学年度を含め4年間（医学部、薬学部薬学科は6年間）。
入試前予約
返還不要
地域別採用
平成28（2016）年度入学者対象
申請締切日
2015年12月5日（土）当日消印有効
お問い合わせ 慶應義塾大学（三田キャンパス）学生部福利厚生支援（月～金／8:45～16:45）
TEL:03-5427-1570
E-mail:lifeshogaku@info.keio.ac.jp
学問のすすめ奨学金 検索

えちごせきかわ温泉郷へ
高瀬 鷹の巣 雲母 湯沢 桂の関ゆ～む
いい湯ゆらゆら 美味なる時間をごゆっくりと…。
秋の紅葉 温泉へ浸りながらゆっくりと
湯沢 高瀬 鷹の巣 荒川 関川村看板 雲母 R113 桂の関ゆ～む 大石川 大石オートキャンプ村 大石ダム 至胎内 荒川胎内I.C 日本海東北自動車道 R7 新潟
温泉 旅館名 電話番号
鷹の巣 鷹の巣館 (0254)64-1009
鷹の巣 四季の郷 喜久屋 (0254)64-2393
鷹の巣 御宿弦太郎 (0254)64-2233
雲母 清流荘 (0254)64-2100
雲母 雲母本館 (0254)64-2137
雲母 岩荘 (0254)64-1130
湯沢 高砂屋旅館 (0254)64-1079
湯沢 仲屋旅館 (0254)64-1382
湯沢 角屋旅館 (0254)64-2440
温泉 旅館名 電話番号
高瀬 高橋屋観山荘 (0254)64-1188
高瀬 あらかわ荘 (0254)64-2118
高瀬 かじかの宿 和らぎ荘 (0254)64-2131
高瀬 古川館 (0254)64-1251
高瀬 花みちる宿 ニュー萬力 (0254)64-2255
高瀬 柔びすや旅館 (0254)64-1020
高瀬 旅館山路 (0254)64-1296
日帰り温泉
えちごせきかわ桂の関温泉ゆ～む (0254)64-1726
お土産は 中村屋のきんつば (0254)64-2151
※詳しい温泉の状況については各旅館にお問い合わせください。
お問い合わせ
関川村温泉旅館組合
〒959-3265 岩船郡関川村下関110番地2（関川村商工会内）
tel 0254-64-1341 fax 0254-64-0423
URL http://www.sekikawa-onsen.com
関川村観光協会
〒959-3292 岩船郡関川村下関912 tel0254-64-1478 fax0254-64-0079

リビングギャラリーなら
アパート マンション
まるごと買います！借り上げます!! 1室からでもOK
※地域や条件によりご希望に添えない場合があります。
相談・査定無料
収益・投資物件のサブリース・仲介・管理・売買等 お気軽にご相談ください。
管理戸数・仲介件数・店舗数 新潟県内トリプルNo.1
実績で選べばリビングギャラリー!!
総管理戸数 14,855戸
サブリース戸数 10,179戸
仲介件数 9,350戸
仲介店舗数 20店舗
※2014年版 全国賃貸住宅新聞管理戸数・仲介件数ランキングによる
宅地建物取引業 国土交通大臣（4）第5854号
LIVING GALLERY 株式会社 リビングギャラリー
〒950-0916 新潟県新潟市中央区米山4丁目1番28号
フリーコール 0800-800-8839
リビングギャラリー 検索
www.living-gallery.com